

平成23年9月26日

保護者 様

仙台市立吉成小学校  
校長 菊地 博

## 仙台市生活・学習状況調査の結果（概要）について

### 1 仙台市生活・学習状況調査について

仙台市生活・学習状況調査は、以下の2点を目標とし、小学校2年～中学3年生を対象に、全市一斉に実施しているものです。

- (1) 「市の状況」との関係において、本校における学習状況や生活習慣等に関する取組の成果と課題を分析し、今後の指導の工夫・改善に生かす。
- (2) 児童一人一人の学習状況や生活習慣等を把握し、個に応じたきめ細やかな指導の充実に生かす。

内容は、「学校生活」「授業」「学習意欲」「家庭生活」「自由時間」「家庭学習等」「社会・地域とのかかわり」「道徳心・挑戦・夢」「自分づくり」に関する質問紙調査です。

### 2 本校における調査結果の概要と今後の方策について

結果の詳細については、4ページ以降の各学年の回答結果をご覧ください。ここでは、各学年の特徴的な傾向についてのみ記します。

※ 回答結果の数値は、設問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合（％）です。

※ [ ]内は、仙台市教育委員会と東北大学との共同研究により、昨年度の学力検査、学習状況調査の結果から明らかになったこととして公開している内容です。

#### (1) 第2学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
4	学校では、好きな授業がある	91.8	98.4	6.5
5	なぜだろう？と、ふしぎに思うことがたくさんある	72.5	78.7	6.2
13	分からないことは、調べたり、周りの人に聞いたりする	74.7	57.4	-17.4

ほとんどの児童が「好きな授業がある」と回答し、「なぜだろう？とふしぎに思うことがたくさんある」と回答した児童は市全体の割合を6.5ポイント上回っています。ただし、「分からないことは、調べたり、周りの人に聞いたりする」は、市全体の割合を17.4ポイント下回っています。

生活科の学習などを中心に、「なぜだろう？」と思う気持ちを、自分で解決してみようという行動につなげる指導を行っていますが、今後、そのような働きかけを一層強めていきます。

[ ]内は、低学年では、「やらされ感」が強いと、学習状況に良い影響を与えないことが分かっています。「知ること、分かることの楽しさ」を実感させることによる内発的動機付けが重要になります。

## (2) 第3学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
37	自分には、良いところがあると思う	74.1	67.8	-6.3
39	夢や目標を、もっている	91.8	98.3	6.5
41	大人になった時のことについて、家の人と、話している	56.4	72.9	16.5

「自分には、良いところがあると思う」児童の割合が、市全体を6.3ポイント下回っていますが、ほとんどの児童が「夢や目標をもっている」と回答し、「大人になった時のことについて、家の人と話している」割合も市全体を16.5ポイント上回っています。

「自分には、良いところがあると思う」という質問については、自己に対する謙虚な気持ちからこのような回答状況になっていることも考えられますが、自己肯定感や自尊感情を高めることは大切なことです。道徳教育や自分づくり教育の充実を図りながら、一人一人の自己肯定感を高めていきます。

小学校4年生までは、おおづかみに夢や目標をもっている児童は、学習状況も良いことが分かっています。

## (3) 第4学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
33	学校の宿題を忘れてしまうことがある	40.2	55.6	15.3
35	他の人の役に立つ人になりたいと思う	90.4	100.0	9.6
36	人が困っている時は、進んで助けている	79.5	92.1	12.6

全ての児童が「他の人の役に立つ人になりたいと思う」と回答しており、「人が困っている時は、進んで助けている」と回答している児童も市全体の割合を12.6ポイント上回っています。他者への思いやりの気持ちが強く表れています。

家庭学習等に関する質問では、「学校の宿題を忘れてしまうことがある」と回答した児童が、市全体の割合を15.3ポイント上回っています。

宿題を計画的に行うことができるようにするための指導に一層力を入れていきます。

授業の準備を前日に整えることや、学校の宿題をしっかりとすることは、学年を問わず、良好な学習状況を保つことと強い関係性があることが分かっています。

## (4) 第5学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
8	学校の授業などで、自分の考えを文章に書いたり、説明したりするのは好きな方だ	54.3	44.3	-10.0
9	授業中、先生の説明や他の人の発表に疑問を持った時、進んで質問することができる	46.7	41.8	-5.0
29	世の中で、自分に何ができるかを考えることがある	66.3	77.2	10.9
63	自分には、よいところがあると思う	67.2	77.2	10.1

「世の中で、自分に何ができるかを考えることがある」と回答した児童が、市全体の割合を10.9ポイント上回っています。「自分には、よいところがあると思う」という回答も、10.1ポイント上回っています。

「授業中に自分の考えを書いたり、説明したりするのが好きな方だ」と回答している児童の割合が44.3%と低く、市全体の割合よりも10ポイント低くなっています。「授業中進んで質問することができる」と回答した児童の割合も41.8%と低くなっています。「説明」や「質問」ができると回答する児童の割合は、一般的に高学年になると減少する傾向にありますが、学びの質を高めていく上で大切なことです。「学び合い」の学校研究をとおして授業の改善を図りながら、失敗を恐れずに挑戦できるように、児童の意識に働きかけていきます。

自分の考えを表現することを苦手としている場合、学習状況が思わしくないという傾向があることが分かっています。

#### (5) 第6学年

番号	質問	仙台市	本校	差
6	普段の授業では、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っていると思う	81.9	71.4	-10.4
63	自分には、よいところがあると思う	65.6	76.2	10.5
67	将来の夢や目標を持っている	85.0	88.1	3.1
68	自分の将来を考えると、楽しい気持ちになる	77.8	83.3	5.5
70	将来の可能性を広げるために、勉強をがんばっている	63.3	70.2	6.9

「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童が71.4%で、市全体の割合よりも10.4ポイント高くなっています。

「将来の夢や目標を持っている」「自分の将来を考えると、楽しい気持ちになる」と回答した児童の割合が多く、「将来の可能性を広げるために、勉強をがんばっている」と回答した児童の割合は、市全体よりも6.9ポイント高くなっています。自分の将来を視野に入れて、学習に取り組んでいることが分かります。

「普段の授業では、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っていると思う」という回答が、市全体の割合に比べ10.4ポイント下回っていることから、「学び合い」の学校研究をとおして、自分と違う考えを受け入れ、よりよい考えを創り出せるように、話し合い活動の充実を図っていきます。

「夢をかなえるために勉強する」「世の中の役に立つ人間になるために勉強する」「将来の可能性を広げるために勉強をがんばる」といった、具体的で、将来に向けた知識や技能を視野に入れている子どもは、学年が上がるほど、学習状況が良好になることが分かっています。